



ドトールグループの取り組み



“コーヒーを通じて、社会に貢献する”

わたしたちが大切にしてきた想いです。

いまでも、これからも。ドトールグループは、“一杯のおいしいコーヒー”
を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、
お客様にやすらぎと活力を提供してまいります。



工場取得認証

お客様に安全・安心な商品を届けるために、ドトールコーヒーの焙煎工場では各種認証を取得しています。



ISO9001

【品質マネジメントシステム認証】

製品やサービスの品質管理体制を構築し、継続的に改善することで、顧客満足の向上を目指すために取得。

- ・2001年取得（関東工場）
- ・2005年取得（関西工場）



FSSC22000

【食品安全システム認証】

Food Safety System Certification 22000の略。消費者に安全な製品を提供することを目的に、食品安全管理を行うため取得。

- ・2012年取得（関西工場）



有機 JAS 認証

農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないことを基本として自然界の力で生産された食品に表示。有機食品のJASに適合した生産が行われていることを登録認証機関が検査し、その結果、認証された事業者のみが有機JASマークを貼ることができます。

- ・2006年取得（関東工場・関西工場）



工場の環境保護への取り組み

焙煎工場では製造工程において、環境保護を促進する機器の設置や省エネ、リサイクル活動など、環境に配慮したさまざまな取り組みを行っています。ここでは、その中の代表的なものをご紹介します。



麻袋のリサイクル

コーヒー生豆は一部の生産国を除き、麻の袋（麻袋）で輸入しています。当社では年間約10,000トンの豆を使用しています。そのため麻袋の量も多いことから、一部の麻袋は固形燃料の材料としてリサイクルしています。



脱臭装置の設置

コーヒーの香りが苦手な方への配慮から、脱臭装置を設置しています。焙煎時に発生する煙や臭いは白金触媒を使って再燃焼し、分解した後に屋上の煙突から排出することで、臭いの低減と無色化を実現しています。



チャフのリサイクル

工場ではチャフ（銀皮）というコーヒーに付着している皮が廃棄物として発生します。通常店舗で豆を挽いて発生する量は、1日数十グラムと少量ですが、工場では大量に排出されるため、まとまって出たチャフを肥料や堆肥化し、100%リサイクルしています。



店内飲食の陶磁器・グラス提供

ドトールでは創業時より陶器・グラスによる提供を行ってきました。使い捨てのプラスチック容器を使用していないことによるCO₂削減量は年間平均で11,045トン、東京ドーム662個分にもなります。過去5年間では55,225トン、東京ドーム3,309個分のCO₂削減に相当しています。



省エネ対策

店舗、オフィス、工場では、時代に合わせた省エネ対策を行ってきました。店舗とオフィスでは、空調やトイレを新装することで節電、節水を実施。さらに店舗のサイン看板や店内照明にCO₂削減に効果的なLED照明器具を導入することで、省エネを実現した店舗設計を推進しています。工場では2014年からコンプレッサーや窒素発生措置、送水ポンプなどの改良を通じて、消費電力の削減に取り組んでいます。この6年間で削減したCO₂は1,955,4トンで、東京ドームに換算すると117個分に相当します。

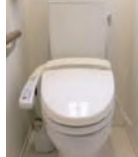


店舗のサイン看板や店内照明にLEDを導入

・節電

照明器具			
	2000年代後半まで ハロゲン球/クリプトン球	2000年代後半から 蛍光灯	2010年代 LED
1灯あたりのおよその消費電力			
	30~100W	10~50W	5~13W

・節水

トイレ			
	2000年頃まで ロータンク式	2000年代 タンクレスの登場	2010年代 タンクレス
流量(大)			
	8~13ℓ	5~8ℓ	3.8~5ℓ

高効率空調機			
	2000年頃まで ノンインバータ空調がメイン	2010年頃 インバータ空調がメインに	2020年 インバータ空調
5馬力3.7kw1台当たりの年間消費電力			
	6,090kwh	3,432kwh	2,620kwh
		56.4%削減	43%削減

・工場



送水ポンプのインバーター制御化

ポンプを常時フル運転からインバーター制御で、必要に応じた運転に



LED照明の導入

東西工場内1,080カ所の照明をLEDに入替



障がい者雇用



障がいを持った方への就業機会の提供は、本社や店舗での雇用の他、2016年に野菜農園D-FARMを千葉県船橋市に開園しました。年々規模を拡大し、2021年3月現在、4つの農園で計14名(うち3名はシルバー雇用の農園長)が働いています。D-FARMで収穫された新鮮な野菜は、社員への配布や地元の小学校へも提供し、大変喜ばれています。



社会貢献活動

全国に展開する店舗での募金活動を通じ、これまでに総額2億4,470万円を寄付してきました。

募金活動の始まり

創業者の鳥羽博道が、ある主婦がカンボジアに学校を作るボランティア活動を紹介したTV番組をみて、店舗での取り組みを呼びかけました。

募金活動実績(2000年～2011年)

「ドトールありがとう募金」：小学校23校舎を寄付

東日本大震災・津波義援金

期間：2011年3月16日～2012年2月29日

寄付先：日本赤十字社

義捐金：1億145万円

※ドトールコーヒーショップ、エクセルシオール カフェ、洋麺屋五右衛門、石窯パン工房サンメリー各業態約1,900店で実施

東日本大震災・津波遺児支援

期間：2012年4月1日～2014年3月20日

寄付先：あしなが育英会

義捐金：1,300万円

※ドトールコーヒーショップ

目的：1. 子供たちが利用する「レインボーハウス」建築
2. 子供たちの心を癒す活動支援



東日本大震災・津波遺児支援

期間：2012年4月1日～2014年3月20日

寄付先：あしなが育英会

義捐金：1,300万円

※ドトールコーヒーショップ

目的：1. 子供たちが利用する「レインボーハウス」建築
2. 子供たちの心を癒す活動支援

福島県への物資・人的支援

期間：2011年7月～2012年11月(計7回)

物資支援：ドリップカフェ、リキッドアイス

人的支援：各種イベントの実施

1. カフェ、ケーキの提供
2. フラワー教室の開催
3. ケーキ教室の開催

その他

・復興支援としての社員旅行訪問
・大雨・台風災害地への義援金





渋谷駅周辺美化活動

渋谷に本社を置く企業として、渋谷区民や勤労者、自治体の方々と一緒に「渋谷駅周辺美化活動」を行っています。毎年4月28日(しぶやの日)やハロウィン明けには、最大150団体1,000人規模の一斉清掃が行われます。2005年から延べ1,200名以上の社員が活動に積極的に参加し、地域の美化活動を推進しています。お客様に気持ちよくご来店いただくための店頭清掃も、社会の一員として働く街を自らの手できれいにすることも、根底には同じ「感謝の気持ち」があります。



ワークライフバランス

ドトールグループでは、従業員の自分らしい働き方の選択を支援しています。勤務地を選べる「一般職」制度、自分で手を挙げて異動ができるジョブローテーション制度、ショップのオーナーを目指す独立支援制度があります。また、在宅勤務やフレックスタイム制の導入を通じて、働き方改革のさらなる実現を目指しています。

☑ 育児休暇制度利用者数(人)

2017/3/1 ~ 2018/2/28	2018/3/1 ~ 2019/2/28	2019/3/1 ~ 2020/2/29
21 名	36 名	28 名

☑ 平均残業時間/月

2018 年	2019 年	2020 年
15.1 時間	7.5 時間	7.3 時間

☑ 有給休暇取得日数/年

2018 年	2019 年	2020 年
7.0 日	8.3 日	12.1 日

(4月～翌3月データで平均取得日数として算出)



コーヒー教育

コーヒーに関する高いレベルの知識&技術を身につけた「真のコーヒーのプロフェッショナル」を育成し、企業理念を実現するため、社員のコーヒー教育に力を入れています。

①社内コーヒー研修の実施

- ✓ DNCA(ドトール・日レスコーヒーアカデミー)
- ✓ コーヒー研修
- ✓ 売店研修

②社外コーヒー資格の取得支援

- ✓ コーヒーマイスター養成講座
- ✓ コーヒーインストラクター検定



コーヒー教室

コーヒーの魅力やおいしさの普及振興のため、定期的にお客様向けのコーヒー教室を開催しています。おいしいコーヒーの淹れ方や、豆かすのリサイクル方法などを、社員が講師となってレクチャーしています。

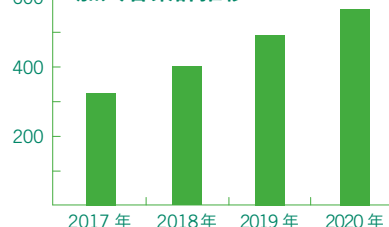




パートナー退職金制度

ドールグループでは、非正規雇用の従業員を「パートナー」と呼んでいます。従業員の多数を占めるパートナーは大きな戦力であることから、将来に向けて安心して働ける福利厚生の実施を目的として、業界初となる「非正規雇用者向け退職金制度」を2017年より直営店で導入。加入者の割合は年々増加しており、ドールグループに長く勤めていただくきっかけにもなっています。

非正規雇用者向け退職金制度
加入者累計推移



FSC認証紙への移行

地球温暖化や大気汚染によって地球上の森林が年々減少している現在、適切な森林管理を行う森林業者や地域を支援し、世界全体の森林保全に貢献する「FSC認証製品」が注目されています。FSC認証製品が消費者の手に届くまでには、最終製品になるまでの生産、加工、流通に関わるすべての組織が認証を受けなくてはなりません。現在ドールグループでは、FSC認証紙の採用率を消費重量で80%以上にすることを目標に、特に消費量の多いおしぼり、紙ナプキン、紙袋の移行を順次進めています。



サステナブル食材の導入

ドールグループでは代替食品を使用した商品の販売を行っています。2020年9月からドールコーヒーショップで大豆ミートを、エクセルシオールカフェでは2020年12月からアーモンドミルクを使用した、植物性由来の商品を導入しました。今後もサステナブルな食材を使用した商品の開発を推進していきます。



DOUTOR



EXCELSIOR
CAFFÉ